

## 玄海防災プログラム

衣食住 ③	活動名	電池で火おこし		時間	30分
ねらい	○	知識 思考・判断	自然災害等の現状、原因及び減災等についての理解を深め、現在及び将来に直面する災害に対して、的確な思考・判断に基づく適切な意志決定や行動選択ができる。		
		危険予測 主体的な行動	地震、台風の発生等に伴う危険を理解・予測し、自らの安全を確保するための行動ができるようにするとともに、日常的な備えができる。		
		社会貢献 支援者の基礎	自他の生命を尊重し、安全で安心な社会づくりの重要性を認識して、学校、家庭及び地域社会の安全生活に進んで参加・協力し、貢献できる。		
活動内容	乾電池、スチールウール等を使用し、火おこし体験を行う。				
対 象	小学校4年生以上	活動可能 人数	制限なし ※道具の準備が可能であれば		
展 開 例	<p>1 事前指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所生活の写真などを見せながら、活動の目的や意義を説明する。</li> <li>・活動の手順を説明する。(作り方、別紙参照)</li> <li>※火を使うために、活動時のKYTについても説明する。</li> </ul> <p>2 体験活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に乾電池を使って火おこしをやる。</li> <li>※おこした火種を用いて、野外調理体験も可能</li> </ul> <p>3 事後指導</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実際に活動を行った感想を出し合う。</li> <li>・今後の活動について注意する。</li> <li>※家の中では絶対に行わない。</li> <li>※子どもだけでは行わない。</li> <li>※災害時などいざという時にだけ行う。 など</li> </ul>				
実施上の留意点	<p>○持参物の確認を行う。(乾電池、割りばし、皮手袋、スチールウール、新聞紙)</p> <p>○意外と大きな火が出るので、皮の手袋を使用することを確認する。</p> <p>○「家の中では絶対に行わない」「子どもだけでは行わない」などの注意事項を事後指導時に必ず徹底する。</p>				
「玄海の家」で準備する物	活動手順、皮手袋(「玄海の家」にある分)				
団体で準備する物	スチールウール 単1アルカリ電池2個、割りばし1膳 皮の手袋				

※事前打合せ時に準備物を要確認

# 電池で火おこし！

## 準備するもの



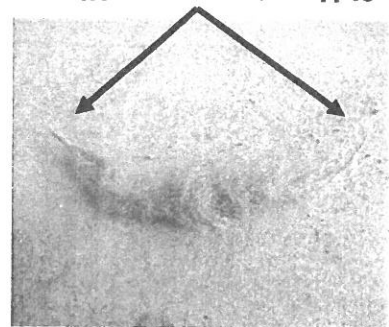
- スチールウール
- 単1アルカリ電池2個
- 割りばし・新聞紙・あさひも
- 皮の手袋



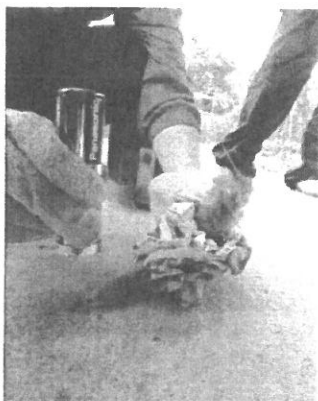
1 スチールウールの左右を伸ばす。



※両端を細くするように伸ばす

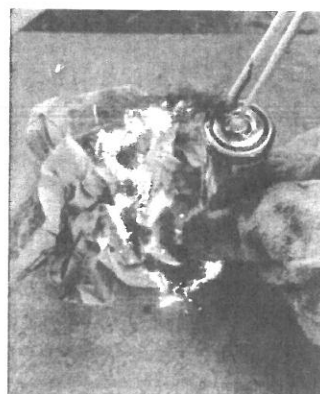
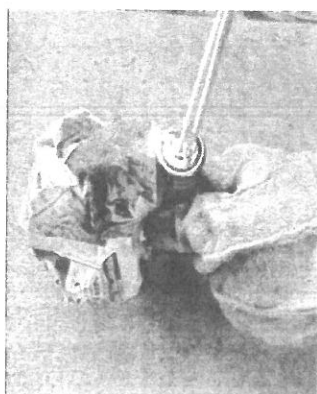


2 スチールウールの片側に、単1のアルカリ乾電池2個を縦に置く。



※+（プラス）側を必ず下にする。

3 割りばしで、スチールウールの一方を挟み、乾電池の-（マイナス）側につけると、火花の後一気にスチールウールに発火する。



※大きな火が出ることもあるので、必ず皮の手袋をする。

※家の中では絶対にしない。

※いざという時にだけ、やること。